

令和4年度

教職課程

自己点検評価報告書

目白大学

目白大学大学院

令和5年3月

目白大学 教職課程認定学部・学科一覧

- ・人間学部（子ども学科、児童教育学科）
- ・社会学部（地域社会学科）
- ・外国語学部（英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科）

目白大学大学院 教職課程認定研究科一覧

- ・言語文化研究科（日本語・日本語教育専攻）

目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検評価	4
	基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み	4
	基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援	8
	基準領域3 適切な教職課程カリキュラム	11
III	総合評価	16
IV	「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス	16
V	現況基礎データ一覧	17

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

(1) 大学名：目白大学、目白大学大学院

(2) 学部名：人間学部、社会学部、外国語学部

研究科名：言語文化研究科（日本語・日本語教育専攻）

認定を受けている教職課程

学部・学科名／研究科・専攻名	教職課程種別
人間学部 子ども学科	幼稚園教諭一種
人間学部 児童教育学科	小学校教諭一種
社会学部 地域社会学科	中学校教諭一種（社会） 高等学校教諭一種（地理歴史） 高等学校教諭一種（公民）
外国語学部 英米語学科	中学校教諭一種（英語） 高等学校教諭一種（英語）
外国語学部 中国語学科	中学校教諭一種（中国語） 高等学校教諭一種（中国語）
外国語学部 日本語・日本語教育学科	中学校教諭一種（国語） 高等学校教諭一種（国語）
言語文化研究科 日本語・日本語教育専攻	中学校教諭専修（国語） 高等学校教諭専修（国語）

(3) 所在地：東京都新宿区中落合 4-31-1

(4) 学生数及び教員数

（令和4年5月1日現在）

学部・学科名 研究科・専攻名	教職履修者数	学科全体学生数
人間学部 子ども学科	551	560
人間学部 児童教育学科	177	190
社会学部 地域社会学科	43	343
外国語学部 英米語学科	37	289
外国語学部 中国語学科	5	174

外国語学部 日本語・日本語教育学科	56	252
大学院 言語文化研究科 日本語・日本語教育専攻	0	14

教員数： 学部 教職課程科目担当（教職・教科とも）108名／全体135名

大学院 教職課程科目担当（教職・教科とも）6名／全体8名

2 特色

目白大学

【教員の養成の目標（目指す教師像）】

目白大学教職課程の設置は、本学の建学の精神（主師親 / 国家・社会への献身的態度 真理探求の熱意 人間尊重の精神）を具現化するものであり、その趣旨は、人間尊重の精神を涵養した上で、人間に関する知識と人間を支援するための技能を併せ持った教師を養成し、もって21世紀の人間生活がより豊かなものとなるために主体的に貢献できる人材を世に送り出すことにある。さらに、人間は生涯にわたって成長・発達していく。こうしたことを理解し、その成長・発達を促進させ、社会に貢献できる人間を育成することが、本学の教員養成の趣旨である。

●人間学部：子ども学科

保育の本質・目的を理解し、実践能力を伴う幼稚園教諭

1. 深い子ども理解のもと、優れた実践能力を発揮する保育者
2. 豊かな感性と人間性をそなえ、子どもと保護者に寄り添える保育者
3. 社会の一員として責任ある行動をとれる保育者

●人間学部：児童教育学科

●社会学部：地域社会学科

●外国語学部：英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科

1. 企画・構想者としての教師（教職への強い使命感と誇りを持った教師）
2. 支援・援助者としての教師（高い実践力を持った教師）
3. 学習者としての教師（広い視野を持った教師）
4. 共創の担い手としての教師（現代的課題に対応できる教師）
5. 先導者としての教師（教育者としての知見と自覚をもった教師）

目白大学大学院

【教員の養成の目標（目指す教師像）】

●高い日本語能力と外国語の実用的語学力さらに学問的再構成力を持った人材で教育者としての使命感の強い教員

大学院の教員養成に対する理念は、より広い視野に立ち教育の諸問題を追求し、地域の教育機関等との連携を図りながら、教育現場に高度な専門職業人を育成し、世に送り出す。また学部教育での学修や現場での経験の上に立ち、自己のもつ問題意識を深め、研究課題を進めていき教育の現場に送り出すことを目指している。また、他研究科に設置されている解放科目などを利用することで、カリキュラムの幅を広げ、より高度な見識をもつ教員を養成することを目指す。

本学が位置する新宿区は、特に外国人が多い集合地域であり、その子女が地元の公立小学校・中学校に多数在籍している。本研究科では、日本語学・日本語教育学の双方を修めた国語教員を養成することを目指す。さらに臨地研究で、現場との接触を深める機会も与えられるようになっている。この臨地研究の科目を通し、教職員や教職課程に学ぶ院生が地域に貢献している。臨地研究や教職科目を通して日本語学に対する深い知識、理解と共感を併せ持つ国語教員が地域社会への貢献に関する取り組みを積極的に推進していく。

II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

A：十分達成している B：達成している C：課題が残る

	総合評価
① 目的・目標、育成を目指す教員像について教職課程に関わる教職員が共通理解をしている。	A
② 教職課程教育を通して育まれるべき学修成果（ラーニング・アウトカム）が具体的に示されている。	A
③ 教職課程教育の目的・目標を学生に周知している。	A

〔現状説明〕

教職課程を持つ学科では、教職課程の目的を確認し、共有している。各学科の目指す教員像については、実習担当者が作成している「実習の手引き」等に明記されており、毎年学科の教員全員に配布している。また、実習担当者間での会議内容についても、学科会議のたびに他教員に共有されており、目指すべき教員像については常に共通理解が図られているといえる。

教員養成の目標は、学生便覧に掲載し、学生が卒業時までいつでも確認出来るようにしている。

〔長所・特色〕

教職課程に関する各科目の授業シラバスでラーニング・アウトカムを具体的に明記している。学生はこのラーニング・アウトカムを意識して授業や実習に臨むことができた。

学科の専任教員と非常勤講師は、日頃より連絡を取り合ったり、非常勤懇話会などを設定したりして、情報共有に努めている。教職課程教育の目的・目標、育成を目指す教員像についても例外ではない。

〔取り組み上の課題〕

学生に対しては、教職課程教育の目的・目標は、教職科目の履修に関する説明会により具体的に周知されており、学科の教職課程センター委員及び教務委員やクラス担任などが協力して助言を行うことにより、学生に理解を深めるように導いてい

る。各授業の初回にシラバスを通して求められる成果や目的などが伝えられている。しかし、学生の中には科目の重複など、細かい履修登録の事項に関心の重点が置かれるため、目的・目標の理解が徹底しているとはいえない。このように、学生によって受けとめに差があることは否めない。来年度オリエンテーション時には、教職課程にかかわる教職員が一層協力し、学生が教職課程教育に対する目的・目標の理解を深めるとともに履修上の留意点を確認できるようにする点は課題である。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 1-1-1 : 2021 年度入学生用 学生便覧【履修要項 (大学)】、pp.136-147
- ・資料 1-1-2 : 2021 年度入学生用 院生便覧、pp.66、94

基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫

	総合評価
① 研究者教員と学校現場での優れた実践的経験を有する教員との協働体制を構築している。	A
② 教職課程の運営に関して全学組織（教職課程支援センターなど）と学部（学科）の教職課程とで適切な役割分担を図っている。	A
③ 教職課程の在り方を恒常的に自己点検・評価するために組織的に機能している。	B
④ 教職課程の質的向上のためにFDやSDの取り組みを展開している。	A
⑤ 教職課程に関わる情報公開を行っている。	A
⑥ 教職課程教育を行う上での施設・設備が適切に整備されている。	A

〔現状説明〕

今年度は教職課程の運営に関する全学組織には、学科から選ばれた委員が構成員として参加し、学科と教職課程との間で適切な役割分担を図っている。教職課程センターの設置により、教職課程がある学科の教職課程センター構成員による会議が年間5回、定期的に開催された。また、組織内に、カリキュラム・時間割ワーキンググループと教育実習ワーキンググループの2つを設置し、対応しなければいけない案件に対して臨機応変に会合を開催することで、教職課程の円滑な運営を心がけた。教職課程センター構成員から学科の教員へ速やかにかつ適切に情報が共有され、共通理解を図ることができた。

教職課程の在り方について、自己点検・評価は、会議等を通じて実施しているが、組織的に動き始めたのは大きな成果であろう。

本学のホームページ上に教職課程センターのページを新たに公開し、本学教職課

程に関わる情報公開を行っている。在学生や入学希望者が、これまでの本学の教職課程の実績を閲覧できるようになった。

2020年度より『目白大学教職課程年報』を年1回発行し、教職科目担当教員による活動報告・教育研究及び実践報告の場を提供している。

関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会、全国私立大学教職課程協会に加盟、研究大会等参加し、学内で情報共有を行なっている。また、SDの一環として職員が大学教務実践研究会セミナー、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会開催の勉強会などに参加し、教員へ情報提供を行っている。

〔長所・特色〕

教職課程担当教員の中には、教職免許を持った豊富な現場経験を有する専任教員（実務家教員）がいる。その教員のノウハウや更には人脈を通じ、さまざまな教員の優れた実践的経験を教育に活かしている。また、そういった教員の知識を取り入れるために度々意見交換を行いながら授業を進めている。

幼稚園と小学校の教育課程に対応した実習支援室が設置されており、学生の教科教育法の授業や教育実習等に関する学生からの相談に対応するなど、教員の協働体制のもと学生の支援を円滑に行なっている。中学校・高等学校の教職課程における教育実習に関しては、教育実習担当と学科教員により、ていねいな指導と支援を行っている。

〔取り組み上の課題〕

教職課程センターは新設1年目で、学科の担当教員が他教員とも情報共有を図っているが、まだ十分な連携体制は構築できていない。今後、教職課程センターと学科との役割分担などをさらに明確にしていきたい。

自己点検・評価については恒常的にまでは至っていないため、来年度以降も実施していきたい。

教職課程センターと連携して役割分担を図るとともに、学科単位での教職課程のFDやSDを行い、研修活動に取り組んでいる。ただし、教職課程センター独自でのFDやSD形式にまでは至っておらず、今後改善の余地がある。

全学で遠隔授業を受講しやすいようにWi-Fi環境を整える等、学生のICT環境整備に加え、全学的な情報教育の強化を目指している。一方で、小・中・高等学校の学校現場のような電子黒板等のICT環境は十分に整備されているとはいえ、学生のICT活用能力の向上のためにも、更なる設備の充実が望まれる。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料1-2-1：目白大学ホームページ（教職課程センター）
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/kyosyoku/>

- ・資料 1 - 2 - 2 : 目白大学ホームページ (実務経験のある教員による授業科目一覧 (2022 年度・大学・新宿キャンパス))

https://www.mejiro.ac.jp/pdf/jitsumukyoin_2022.pdf

- ・資料 1 - 2 - 3 : 2021 年度 研究交流集会・研修会・勉強会の情報交換内容一覧

◎一般社団法人全国私立大学教職課程協会

- ・第 40 回記念研究大会

2021 年 5 月 22 日 (土) 自己点検・評価の制度化—私立大学教職課程の新たな課題—

◎関東地区私立大学教職課程連絡協議会

- ・『関私教協 2021 年度第 1 回研究部総会、第 1 回研究部会および第 1 回研究懇話会』

2021 年 7 月 18 日 (日) 「Society 5.0 時代における未来の学びと公教育」

- ・2021 年度第 2 回研究懇話会

2021 年 12 月 11 日 (土) 「教職課程の質保証・自己点検評価をめぐる現状と課題」

◎京都地区教職課程研究連絡協議会教員免許事務勉強会

- ・第 1 回 2021 年 6 月 26 日 「教育職員免許法施行規則等の改正内容について」

- ・第 2 回 2021 年 10 月 3 日 「情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法」の新設に伴う対応について

- ・第 3 回 2021 年 12 月 4 日 「昨年度からの教職課程認定基準の変更点について～変更届作成に係る部分を中心に～」

◎大学教務実践研究会

- ・第 9 回大会

2021 年 12 月 11 日 (午前) 教職課程の自己点検・評価における事務職員のかかわりについて

(午後) 事例で学ぶ教員免許事務 (教育課程の変更届)

◎教員免許事務担当者セミナー

- ・2021 年 7 月 10 日 (土) 教職課程事務に必要な法令・制度の知識・理解について～自己点検・評価を材題に～

- ・2022 年 2 月 12 日 変更届提出前のチェックポイントについて

リーダー講習会

- ・2021 年 10 月 23 日 (午後) 教職課程を統括する組織の運営について ～情報系新科目の設置に向けた取り組みを中心に～

◎一般社団法人全国私立大学教職課程協会

- ・第 40 回記念研究大会

2021 年 5 月 22 日 (土) 自己点検・評価の制度化—私立大学教職課程の新たな課題—

◎関東地区私立大学教職課程連絡協議会

- ・『関私教協 2021 年度第 1 回研究部総会、第 1 回研究部会および第 1 回研究懇話会』

2021 年 7 月 18 日 (日) 「Society 5.0 時代における未来の学びと公教育」

- ・2021 年度第 2 回研究懇話会

2021 年 12 月 11 日 (土) 「教職課程の質保証・自己点検評価をめぐる現状と課題」

基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

	総合評価
① 教職を担うにふさわしい学生を受け入れる履修上の基準を設定している。	A
② 教職を担うにふさわしい学生の募集・選考等を実施している	B
③ 当該教職課程に即した適切な数の履修学生を受け入れている。	A

〔現状説明〕

子ども学科、児童教育学科では、入試判定時に適切な基準を設定して、学科教員による判定会議を開催して協議をし、教職に適格性のあると判断される人材確保に努力している。教職課程を持つ他の学科においては、履修上の基準や実習科目の受講の条件を設け、1年次より説明を行うことによって、教職を担うべき適切な人材（学生）の確保を行っている。

〔長所・特色〕

学生募集の基準については、合格基準を設け一定の基準を保つようにしている。また、教職や免許取得に対する熱意なども面接を通して把握し、明らかに意欲のない学生については合格としないようにしている。

在学中の教職に対する意欲の変化や揺らぎについては、1・2年次はクラス担任、3・4年次はゼミ担任が相談窓口となり把握するようにしている。また、教育実習に関する授業においても度々確認を行い、不安や迷いのある学生、適正に問題があると思われる学生については必ず面談を実施して指導を行っている。教職履修学生数に関しては、前資格支援センター時代から繰り返し検討しており、適切な数を受け入れている。

大学院生については、既に1種免許を所持し専修免許取得を目指しているため、高度な研究意識を備えた教員養成を目指し指導している。

〔取り組み上の課題〕

教職課程を持つ各学科では、適切な基準を設定し、教職に適格性のある学生を選抜している。その選抜方法に関しては、各学科の特色に応じて実施されている。教職課程で学び始めた学生に対しては、面談を実施し、指導をしている。

しかし、年次が上がるごとに教職課程を離れる学生が見られる。残念ながら、教職課程を履修する段階では、教職課程を修了するまで履修し続けることができるかどうかまで、見通すことができない。教職課程では授業数がとても多く履修し続け

ることが難しいことをしっかり説明した上で、教職課程をやり抜くだけの強い意志を確認し、学生を選抜する必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-1-1：目白大学入試要項
- ・資料2-1-2：目白大学ホームページ内教職課程センター「7」卒業者の教員免許状取得状況 ～2021年度教職課程受講者数～

基準項目2-2 教職へのキャリア支援

	総合評価
① 学生の教職に対する意欲や適性を把握している。	A
② 学生のニーズの把握に基づいた適切なキャリア支援を組織的に行っている。	A
③ 学生の学修状況に応じたきめ細かな指導を行っている。	A
④ 教職入職に関する各種情報を適切に提供している。	A
⑤ 教員免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている。	B

〔現状説明〕

キャリア支援については、学科の就職担当の委員が中心となり就職支援部と連携をとりながら、全教員でサポートすることを心がけている。また、各学科ともにクラス担任及びゼミ担任による個別面談を実施し、学生のニーズ、学修状況等を把握した上で、きめ細かな指導をしている。就職情報などについても学科から発信し、ゼミ担任が中心となり就職に関する相談に対応している。

学科により教職履修者の割合が異なり、教職課程履修学生への対応も様々である。例えば、学生のほとんどが教職免許を取得する学科では、特に免許取得率を高めるための手段はとっていない。一方、学科によっては、規模的にそもそも教職課程履修希望者数が少ないのに加え、昨今の社会的ないし経済的状况に由来する諸問題により、教員免許状取得件数、教員就職率を高める策については妙案が見当たらず、今後に向けた課題となっている学科もある。

教職課程センターでは、教員志望者向けに教員採用試験対策本や教職関連雑誌、新聞を配架し、貸し出しを行っている。

〔長所・特色〕

教育委員会による説明会を積極的に開催し、情報提供・キャリア支援を進めて

いる。東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・さいたま市・横浜市・川崎市等の教育委員会説明会を、春学期と秋学期の2回、対面に加え、Zoomによる双方向型により実施した。さらには、時事通信社による採用試験対策講座を実施しており、最新の教員採用試験の合格率や、採用試験の傾向と対策についてお話をうかがい、教職課程履修学生のキャリア支援を行っている。

採用試験対策に関しては、各学科の特性もあり、基本的に各学科の取り組みに委ねている。

複数の学科で教員採用試験の合格者や実際に教職についている学生から体験談を聞く機会を設定し、学生に対して教員採用試験に向けての準備や学習法など対策方法についてアドバイスをもらったり、学生の質問に関して解答してもらったりするようにしている。この方式は、長所として、先輩の生の助言ということで、実際の体験談や学習方法の紹介、合格の秘訣等を具体的に聞きながら、自分の身に置き換えてとらえることができたという点である。教員採用試験合格のために、自律的に考える力の養成につながった。

児童教育学科では、キャリア支援の一環として、授業科目以外にも、教員のボランティアによる小学校教員採用試験突破講座を開設し指導している。小学校教員採用試験突破講座は3年次6月から週1コマで開始し、9月から4年次の7月まで週4コマ指導している。これ以外にも長期休業中にも集中講座を実施している。このように、学科の実態や特色を生かして、教職へのキャリア支援を行っている。

〔取り組み上の課題〕

学生の教職に対する意欲や適性の把握に関しては、今後、職業選択と適正指導の充実について、さらに改善・精査を重ねていく必要がある。

教師を目指す学生が半数という学科では、他の資格取得など複数の実習が時期的に重複するなど、同時履修が困難となり教職履修を途中辞退する場合もあり、履修指導の難しさが課題となっている学科もある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-2-1：目白大学ホームページ内教職課程センター「8」卒業者の教員への就職状況」
- ・資料2-2-2：目白大学ホームページ内教職課程センター「9」教員養成に係る本学の取り組み」

基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

	総合評価
① 教職課程科目に限らず、卒業単位 124 単位を活用して、建学の精神等、開放制の教員養成を行う大学としての特色ある独自性のある教員養成を行っている。	A
② 学科等の目的を踏まえ、「教科専門」「教科指導」「教職専門」の各科目・領域間の系統性の確保を図っている。	A
③ 学校や社会のニーズ、政策課題（例えば、教員育成指標参照）に対応した教育内容の工夫がなされている。	B
④ 学生自身によるアクティブ・ラーニングを促す工夫に取り組んでいる。	A
⑤ 学生間の協働による課題発見力・課題解決力、価値協働を育成する場を設定している。	A
⑥ コアカリキュラムに対応した教職課程のカリキュラムを提供している。	A
⑦ 「教職実践演習」の運用上の適切性、「履修カルテ」の活用上の工夫を図っている。	B
⑧ 本来の対面授業のほかに、遠隔操作による授業（オンライン、オンデマンドなど）の工夫も取り入れている。	A

〔現状説明〕

「育てて送り出す」という本学の理念をもとに、使命感、責任感そして、実践力溢れる教員の養成に取組み、本学の特色である少人数によるていねいな指導に努めている。

教職課程カリキュラムは、各学科全教員で編成を検討し、的確に実施している。学科のカリキュラムマップを作成し、「教科専門」「教科指導」「教職専門」の各科目・領域間については、各科目・領域相互の棲み分けを明確にした授業設計を行うことにより、科目間のつながり、系統性を確保し、教職課程カリキュラム編成に生かしている。さらに、教職課程のカリキュラムは、コアカリキュラムに対応した設計がなされている。

〔長所・特色〕

アクティブ・ラーニングに関しては、単なるグループワークではなく、学生同士で評価し合い課題を発見したり、意見交換したりする中で教職に関する学びを深めることができている。学生自身によるアクティブ・ラーニングを促す工夫は、模擬授業形式を始めとして随所に取り込んである。

「教職実践演習」に関しては、卒業後に教職に就くことを想定して具体的な問題についての理解及び実践力を養うことができている。「教職カルテ」は、それらの意義を学生本人に周知することで、効果的な運用を図る工夫をしている。1年次

から教職課程を目指しているかを自己確認するためエクセルによる入力出来るようにしている。学年が上がるごとに提出させて振り返りを行なっている。「教職実践演習」で活用しているが、毎年次年度以降、さらに積極的な活用が望まれる。

令和3年度は、実践力育成のために、演習に関しては可能な限り対面での授業に努めた。遠隔授業については、コロナ禍でやむを得ず行っただけでなく、ICTの活用能力を育成するなど、遠隔授業による教育的効果が認められる場合は積極的に活用した。

〔取り組み上の課題〕

アクティブ・ラーニングは長所にあげられる内容ではあるが、科目によっては、教職課程履修者が少ないため、学生間の協働による課題発見力・課題解決力、価値協働を育成する場を十分に設けることができていない課題もある。

学生の教職に対する深い理解を図ることを目指して学科ごとに科目の設定に工夫を凝らしている。ただし、社会のニーズ、政策課題などを踏まえた教育内容については、一部科目では含まれるものの、全体としては十分な状況ではない。学科教員間で、現代社会に求められる教員像について共通認識をすることが今後の課題である。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-1-1：目白大学ホームページ内教職課程センター「4 教員養成に係る授業科目、年間の授業計画」
- ・資料3-1-2：目白大学ホームページ内 シラバス

基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

	総合評価
① 教育の実際場面に学生が触れるフィールドを提供している。	B
② 取得する教員免許状の特性に応じた実践的指導力を育成する場を設定している。	A
③ 様々な体験活動（ボランティア、インターンシップ、介護等体験等）とその省察による往還の機会を提供している。	A
④ 様々な子どもの発達段階に関する教育実践的な情報を提供している。	A
⑤ 教育委員会との組織的な連携協力体制を構築している。	B
⑥ 教育実習の指定校（協力校）との連携を図っている。	B
⑦ 教育実習に臨む上での必要な履修要件を設定している。	A

〔現状説明〕

今年度は教育実習ワーキンググループが中心となり、教育実習関係の指導と業務に組織的な取組ができた。教職課程センターとして、教育実習に臨む上での必要な履

修要件について、設定している。特筆したい点は、新型コロナウイルス感染症の影響による実習受け入れ先からの要望や実習の中止及び日程の変更等の突発的な事案に対し、教育実習ワーキンググループが適切に対応し、可能な限り円滑な実習実施をすることができた点である。

実践的指導力の養成は、各学科の豊富な専門科目を履修することによって、結果的に実践的指導力の養成につながっている。今年度は教育実習ワーキンググループが中心となり、教育実習受講上の留意点を学生に示し、ていねいな指導を心がけている。また、担当教員がどのように教育実習先との連絡方法についてマニュアルを作成し、円滑な連携を図ることができるようにしている。

〔長所・特色〕

実践的指導力の養成については、学科が独自に提供しているのではないが、教職課程センターと連携しており、教職課程として十分な機会や情報が提供されている。教員の実際場面に学生が触れるフィールドとして、教育実習を設定している。それ以外には、学校での学習ボランティア活動を推奨している。4年次の教育実習に進むための条件の一つとしてボランティア活動の実績を設けている学科もあり、学生の意識を高め、ボランティア活動に臨めるようにしている。

教職課程の授業担当者には、学校現場と密接にかかわっている教員がおり、様々な子どもの発達段階に関する教育実践的な情報については、その教員から学生に情報提供できている。

教育実習校とは、常に緊密な連携を図っている。教育実習に行くためにはしかなるべき履修要件を設定し、相応しくない者が行くことがないように配慮している。

幼稚園実習協力園との情報交換は、実習懇談会の開催を行うことで実施している。

教育委員会、社会福祉協議会、地域の学校と密接に連絡をとり、実習体制を整えている。

「小学校体験活動」は本学と中野区教育委員会との協定により、中野区内の小学校で観察実習をすることが確保されている。大学2年の春学期1週間、秋学期1週間合計2週間を通じて教職履修を始めての現場で生徒理解を深めている。常に中野区教育委員会、中野区校長会と連絡を密にして円滑に実施できるシステムがある。小学校体験活動後、ボランティアとして継続して同じ小学校で体験させていただいている学生が多い。

介護等体験実習では、特別支援学校体験については東京都教育委員会と連携、社会福祉施設体験については東京都社会福祉協議会と連携・協力しており、それぞれ学生の居住地に適した場所での体験ができるよう配置してもらっている。教育実習においては、各実習校へ教員から挨拶・連絡を行なった上で訪問し、連携を図っている。

〔取り組み上の課題〕

コロナ禍により教育の実際場面に学生が触れるフィールドの提供には困難があった。5日間の社会福祉施設体験については全て実施することができず、介護等体験が、代替措置による講座の学びおよびレポート提出に変更になり、実際に介護等体験をすることができなかった。さらに、地域との連携を図りたいところではあるが、コロナ禍の中、連携は難しい状況であった。コロナ終息後、計画通り実習を実施できることを願うと同時に、地域との具体的な連携について検討したい。

ボランティアについては、できるだけ学校現場での実体験をさせたいと考えているが、履修しなければいけない科目が多く、なかなか学習ボランティア活動を体験できないという現状がある。

幼稚園実習協力園との実習懇談会は、参加園が少なく十分ではない。今後、実習協力園との連携を深め、それにより学生が実際の保育現場に触れる機会を提供できる方法を構築することが望まれる。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 3-2-1 : 2021 年度入学生用 学生便覧【履修要項 (大学)】、
pp.143-147
- ・資料 3-2-2 : 目白大学ホームページ内教職課程センター「6 本学の教育実習および介護等体験の取組」

Ⅲ. 総合評価

今回、自己点検評価を実施することによって、これまで以上に組織的に教職課程の運営することの必要性に気づくことができた。

本学の教職課程に関する全学組織には、学科から選ばれた委員が構成員として参加し、学科と教職課程との間で適切な役割分担を図ることによって、組織的な取組ができるようになった。また、教職課程センター会議が年間5回、定期的・計画的に開催された。さらに、教職課程センター内に、カリキュラム・時間割ワーキンググループと教育実習ワーキンググループの2つのワーキンググループを設置し、対応しなければいけない案件に対して臨機応変に会合を開催することで、教職課程の円滑な運営と課題に対する迅速な対応をすることができた。

2020年度より『目白大学教職課程年報』を年1回発行し、教職科目担当教員による活動報告・教育研究及び実践報告を行うことによって、各学科の取組を共有することができるようになっている。他学科の取組は参考になり、学ぶ点も多く、教職課程の取り組みの改善につながっていると思われる。教職課程の授業を担当する非常勤講師に関しても、非常勤懇話会を設定したり、専任教員が連絡を取ったりし、情報共有に努めている。教職課程を担当する教員間で、教職教育の目的・目標、育成を目指す教員像についても確認の上、指導を実施している。しかし、このように、学科の担当教員が他教員とも情報共有を図っているものの、まだ十分な連携体制は構築できていないとはいえず、さらに連携を深める必要がある。

学生の指導においては、「育てて送り出す」という本学の理念をもとに、使命感、責任感そして、実践力溢れる教員の養成に取り組み、本学の特色である少人数によるていねいな指導を実施している。学生に対しては、教職教育の目的・目標や履修に関して具体的に周知している。しかし、学生によって受けとめに差があることは否めず、教職課程にかかわる教職員が一層協力し、教職教育の目的・目標や履修上の留意点を学生に十分に理解させることが必要になる。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものの、教育実践力の育成のため、演習科目に関しては可能な限り対面での授業に努めた。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行する中、教育委員会や実習校・実習施設、地域との十分な連携を図ることができなかった。感染状況が改善されたなら、積極的に連携し、質の高いフィールド教育を実現したい。

小・中・高等学校の学校現場で活用されているような電子黒板等のICT環境が、学内に十分整備されているとはいえない。学生のICT活用能力の向上のためにも、更なる設備の充実が望まれる。

今回、自己点検・評価においてB評価になった項目については、次年度以降重点的に改善に取り組んでいく。

IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

本報告書の作成に当たっては、令和3年9月に教職課程センター会議において次の手順を進めることを確認した。

第1プロセス：4月教職課程センター会議において、昨年度の自己点検評価結果を振り返りながら、課題や改善策を学科で検討を依頼した。

第2プロセス：11月教職課程センター会議において、今年度自己点検・評価を学科別に配布して1月末締め切りで作成を依頼した。

第3プロセス：2月中旬教職課程センター会議において承認された。

第4プロセス：2月下旬教職課程センター運営委員会において報告された。

第5プロセス：教職課程年報を作成し、自己点検・評価の報告書をホームページに掲載。

V 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 目白学園					
大学・学部名・学科名 目白大学 人間学部 子ども学科、児童教育学科					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 昨年度卒業者数		子ども学科 131名 児童教育学科 50名			
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)		子ども学科 114名 児童教育学科 41名			
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)		子ども学科 103名 児童教育学科 44名			
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)		子ども学科 37名 児童教育学科 30名			
④のうち、正規採用者数		子ども学科 37名 児童教育学科 14名			
④のうち、臨時的任用者数		子ども学科 0名 児童教育学科 16名			
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他 ()
教員数	8	8	8	0	
相談員・支援員など専門職員数					

V 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 目白学園					
大学・学部名・学科名（教職課程認定学部・学科のみ） 目白大学 社会学部 地域社会学科					
1 卒業生数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 昨年度卒業生数					72名
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					61名
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					5名
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)					3名
④のうち、正規採用者数					1名
④のうち、臨時的任用者数					2名
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他 ()
教員数	4	1	2	0	
相談員・支援員など専門職員数					

V 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 目白学園					
大学・学部名・学科名（教職課程認定学部・学科のみ） 目白大学 外国語学部 英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科					
1 卒業生数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 昨年度卒業生数		英米語学科 81名 中国語学科 31名 韓国語学科 62名 日本語・日本語教育学科 42名			
② ①のうち、就職者数 （企業、公務員等を含む）		英米語学科 62名 中国語学科 19名 韓国語学科 48名 日本語・日本語教育学科 22名			
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 （複数免許状取得者も1と数える）		英米語学科 6名 中国語学科 0名 韓国語学科 0名 日本語・日本語教育学科 3名			
④ ②のうち、教職に就いた者の数 （正規採用＋臨時的任用の合計数）		英米語学科 2名 中国語学科 0名 韓国語学科 0名 日本語・日本語教育学科 1名			
④のうち、正規採用者数		英米語学科 1名 中国語学科 0名 韓国語学科 0名 日本語・日本語教育学科 0名			
④のうち、臨時的任用者数		英米語学科 1名 中国語学科 0名 韓国語学科 0名 日本語・日本語教育学科 1名			
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他（ ）
教員数	5	1	3	0	
相談員・支援員など専門職員数					

V 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 目白学園					
大学院・研究科名 目白大学大学院 言語文化研究科 日本語・日本語教育専攻					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 昨年度卒業者数					3名
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					1名
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					※1 (大学院において所要資格 24単位修得者、令和4年 度大学院在学中)
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)(学部 / 大学院)					0名
④のうち、正規採用者数(学部 / 大学院)					0名
④のうち、臨時的任用者数(学部 / 大学院)					0名
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他()
教員数	4	2	1	0	
相談員・支援員など専門職員数					

2021

9. 教職課程について

- 目白大学で取得できる教員免許
- 教職課程における実習の概要
- 教員の養成の目標（目指す教師像）
- 目白大学の教職課程履修について
- 各学科の教職カリキュラム

9. 教職課程について

1 目白大学で取得できる教員免許

教育職員免許状（幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員になるために必要な免許状）は、卒業要件を満たし、教職課程の所定の科目を履修し、単位を修得したうえで、所管の官庁（本学の場合は東京都教育委員会）に申請することにより、卒業時に免許状が授与されます（国家試験を受験するものではありません）。所定科目は、教員になるための「基礎科目」と、特定の教科の教員になるための「教科及び教職に関する科目」（英語教員ならば英語に関する科目）から構成されています。実際の学校で行う教育実習は、「教科及び教職に関する科目」に含まれます。

本学で取得できる教員免許状は下表のとおりです。

取得できる教員免許一覧	取得できる学科	パターン
中学一種国語、高校一種国語	日本語・日本語教育学科	(A)
中学一種社会	地域社会学科	(B)
高校一種地歴	地域社会学科	(C)
高校一種公民	地域社会学科	(D)
中学一種英語、高校一種英語	英米語学科	(E)
中学一種中国語、高校一種中国語	中国語学科	(F)
小学校一種	児童教育学科	(G)
幼稚園一種	子ども学科	(H)

履修のルール

(1) (A) (E) (F) は、それぞれの項目で挙げられている複数の免許を同時に取得する前提で履修してください。

[例] (A) において、高校国語のみ履修し、中学国語を履修しないという履修方法は認められません。中学と高校の教員免許は、履修しなければならない授業科目の多くが重複しているため、両方の免許を同時に取得できるようになっていません。また、実際の就職活動においては、両方の免許を持っていないと不利になることがあります。

(2) 複数のパターンを組み合わせることで複数免許を取得できるのは、①～②の組合せに限られます。

① (A) と (F)

② (B) と (C) と (D)

(3) 教育実習先の確保が難しいため、(F) は単独での履修は認められません。必ず (A) と組み合わせることで履修してください。また (B) (C) (D) は組み合わせることで履修することを強く推奨します。

(4) 左ページの図表で取得できる教員免許と学科の組合せになっていない場合は4年間で免許取得に必要な単位をすべて履修することが難しいので、必ず事前に教務課で相談してください。

免許申請

本学新宿キャンパスの学生に対しては、東京都教育委員会が免許を発行します。この申請事務は本学が一括して行います。東京都以外にも在住地に申請することができますが、個人申請になります。

なお、免許申請に係る費用は教職課程費には含まれていません。

2 教職課程における実習の概要（※子ども学科を除く）

1 年次	
4月	教職課程登録申請書提出 ・教職課程カルテの説明
9月	教職課程費納入 ・教職課程カルテへの入力 ・学校ボランティア活動の推奨

【教職課程カルテ】

学生ネットサービスからアクセスするウェブサイトです。入学してから4年次春学期までの間に修得した科目の確認や、教育実習・介護等体験・教職に関するその外の活動における学習内容、及び学年ごとの自己評価を記録します。4年次秋学期に行う「教職実践演習」の中で活用します。

【学校ボランティアの推奨】

学校ボランティアは、平日の授業中や放課後子どもたちとかかわり、共に遊んだり、学習を支援したりする等、さまざまな学校活動をサポートする活動です。学校の姿を肌で感じることができ、自己成長につながる貴重な経験になります。



2 年次	
5月～	【小学校体験活動(事前事後指導含む)】 ※小学校免許のみ



【小学校体験活動(事前事後指導含む)】

実習期間	概ね5月～12月の間で各小学校が定める期間(大学で授業がある場合は公認欠席として扱います)。
実習場所	中野区立の小学校 ・実習以外に、本学で事前・事後授業を実施します。
実習時間	原則として各小学校の勤務時間
実習内容	学校で行事や活動、担任の業務・授業等、さまざまな仕事があることを体験します。原則として授業は行いません。 〔具体例〕 授業参観及び指導教師の指導による指導補助。給食、清掃、休み時間、放課後等児童とともに活動します。
費用	・交通費、給食費は実習生の本人負担。 ・保険、健康診断書、体験費用、指導に関する諸費用は本学が負担。
その他	通年科目で「事前指導」「実習」「事後指導(集中授業)」の3期に分かれます。

3年次	
4月	教職課程費納入
5月～	次年度教育実習先依頼
7月～	【介護等体験実習(事前事後指導含む)】
12月～	教員採用大学説明会 教員採用試験に直接かかわっている教員経験を持つ採用担当者が地域の特色を交え、説明します。

【介護等体験実習(事前事後指導含む)】
介護等体験(7日間)を含む

実習期間	①介護施設(東京都社会福祉協議会担当)で5日間(原則として月～金の連続)実施します。 ②特別支援学校等(東京都教育委員会担当)で2日間実施します。 ③概ね5月～12月に実施。相手次第で長期休業中も実習があります(大学で授業がある場合は公認欠席として扱います)。
実習場所	本学の学生は東京都内で実施します。大学で手続きをします。
実習時間	原則として各施設の勤務時間(指定された時間)。宿直はありません。
実習内容	実習施設の実態や状況はさまざまです。事前調査及び事前の打合せで詳細を確認してください。
費用	・交通費、給食費は実習生の本人負担。 ・保険、健康診断(細菌検査を含む)、体験費用、指導に関する諸費用は大学が負担。
その他	通年科目で「介護等体験のための事前指導」「介護等体験」「事後指導」の3期に分かれます。

4年次	
4月～5月	教員採用大学説明会
5月初旬～	【教育実習(事前事後指導含む)】
9月下旬～	「教職実践演習」 ・教職課程カルテの活用
10月～	免許状一括申請
3月	免許状交付

【教育実習(事前事後指導含む)】

実習期間	通年の授業の中で、事前・事後指導を行います。実習先により異なりますが、概ね5月初旬～6月下旬の間(小学校4週間、中高3週間)に実施します。10月～11月下旬の学校もあります(実習期間中に大学で授業がある場合は公認欠席として扱います)。
実習場所	教育実習先については、大学と学生本人が相談のうえ、希望実習校を決めます。学生が3年次に希望実習校と連絡をとり、実習の内諾(口頭)を得られた段階で、教務課に報告してください。報告に基づき、大学が正式に教育実習の依頼を学校に行います。なお、東京都内の公立学校で実習を希望する場合は、大学が東京都教育委員会に申請を行い、実習校が決定されます(人数によっては希望に沿えない場合があります)。教育実習校については、授業時等に詳しく説明します。
実習内容	通年の授業の中で事前・事後指導を行います。
費用	・交通費、給食費は実習生の本人負担。 ・保険、健康診断、体験費用、指導に関する諸費用は本学が負担。
その他	詳しくは学科または教務課の指示に従ってください。

教職課程における実習の概要 (子ども学科)

1年次	
4月	教職課程登録申請書提出 ・教職課程カルテの説明
9月～ 9月	授業【基礎実習指導】開始 教職課程費納入 ・教職課程カルテへの記載



2年次	
4月～	保育ボランティア活動



【教職課程カルテ】

学生ネットサービスからアクセスするウェブサイトです。入学してから4年次春学期までの間に修得した科目の確認や、教育実習・教職科目・その他の活動における学習内容及び学年ごとの自己評価を記録します。4年次秋学期に行う「教職実践演習」の中で活用します。

【基礎実習指導】

基礎実習指導は、保育者を目指す学生として、実習の意義と目的について認識すると共に実習に必要な「専門知識」・「専門援助技術」を身につけるための基礎となる授業です。保育者の講話や視聴覚教材等の活用により、心動かされる多様な体験と、講義・グループでの演習を通して、実習への基本姿勢・基本的知識を得られるようになっています。

【ボランティア活動】

3年次の「子ども学専門セミナー」の基盤的科目として位置づけられている授業である2年次の「子ども学基礎セミナー」では、保育現場でのボランティア活動を通し、子どもや子どもを取り巻く状況の理解を深めていきます。授業では、ボランティア活動の事前準備として、活動の意義や、社会人としてのマナー等について学びます。活動後は、現場で得られた様々な疑問や気づきを振り返ることにより、実習に必要な力の基礎や、子ども学の研究方法の基礎を培います。



3年次	
4月	教育課程費納入
4月～	次年度教育実習先依頼
4月～3月	公務員試験対策講座
1月	教育実習に向けての準備 ・実習園、実習期間の決定 ・実習の目的の理解、実習課題の明確化



【教育実習に向けての準備】
1月頃、幼稚園実習の実習園、実習期間が決定します。これに伴い、実習目的を再確認し、実習における自らの課題(実習課題)を明確化していき、必要な書類を作成します。

4年次	
4月～ 5月初旬 ～7月中旬	授業【教育実習指導】開始 【教育実習】
9月～	授業【教職実践演習】開始 ・教職課程カルテの活用
10月～ 3月	免許状一括申請 免許状交付

【教育実習】	
実習期間	春学期、事前・事後指導を行います。実習先により異なりますが、概ね5月初旬～7月中旬の間に実施します。
実習場所	教育実習先については、希望する幼稚園に関するアンケートを行った後、学生の居住先をもとに、大学が配属先を決定します。 なお、東京都内の公立幼稚園で実習をする場合は、大学が東京都教育委員会に申請を行い、実習先が決定されます(人数によっては、希望に沿えない場合があります)。
実習内容	授業を通して学んできた理論と実践を融合させて、実習に臨みます。そのために、自らが責任を持って保育を進めることのできる計画力、実践力、応用力を身につけます。また、子どもに対する理解を一層深め、保護者支援や地域における子育て支援等も含む保育者の役割を知ります。実習後には、実習を考察・反省し、自らの成果と課題を明確にして、次の実践につなげていけるようにします。
費用	・交通費、給食費は実習生の本人負担。 ・保健、健康診断、体験費用、指導に関する諸費用は大学が負担
その他	詳しくは学科、または教務課の指示に従ってください。

【教員の養成の目標（目指す教師像）】

目白大学教職課程の設置は、本学の建学の精神（主師親 / 国家・社会への献身的態度 真理探求の熱意 人間尊重の精神）を具現化するものであり、その趣旨は、人間尊重の精神を涵養したうえで、人間に関する知識と人間を支援するための技能を併せ持った教師を養成し、もって21世紀の人間生活がより豊かなものとなるために主体的に貢献できる人材を世に送り出すことにある。さらに、人間は生涯にわたって成長・発達していく。こうしたことを理解し、その成長・発達を促進させ、社会に貢献できる人間を育成することが本学の教員養成の趣旨である。

人間学部：子ども学科

保育の本質・目的を理解し、実践能力を伴う幼稚園教諭

1. 深い子ども理解のもと、優れた実践能力を発揮する保育者
2. 豊かな感性と人間性をそなえ、子どもと保護者に寄り添える保育者
3. 社会の一員として責任ある行動をとれる保育者

人間学部：児童教育学科

社会学部：地域社会学科

外国語学部：英米語学科 中国語学科 日本語・日本語教育学科

1. 企画・構想者としての教師（教職への強い使命感と誇りを持った教師）
2. 支援・援助者としての教師（高い実践力を持った教師）
3. 学習者としての教師（広い視野を持った教師）
4. 共創の担い手としての教師（現代的課題に対応できる教師）
5. 先導者としての教師（教育者としての知見と自覚をもった教師）

目白大学教職課程履修について（2021年度入学生用）

認定免許状

（学部において取得できる免許状）

- (1) 学部において取得することのできる免許状は、幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状及び高等学校教諭1種免許状とする。
- (2) 文部科学大臣の認定（以下「認定」という。）を受けている免許状は、別表1のとおりとする。
- （介護等体験）
- (3) 小学校教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状の取得については、法令で定める介護等体験をしなければならない。

授業科目及び単位

（授業科目）

- (4) 授業科目は、教職基礎科目、教科及び教職に関する科目に区分する。

（教職基礎科目及び単位）

- (5) 教職基礎科目及び単位は、教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号。以下「免許法施行規則」という。）第66条の6に規定する授業科目及び単位のことをいう。

（教科及び教職に関する科目及び単位）

- (6) 教科及び教職に関する科目及び単位は、免許法施行規則第2～5条に規定する科目区分に従い、人間学部、社会学部、及び外国語学部において定める。
- (7) 教職実践演習（幼稚園）、教職実践演習（小学校）、教職実践演習（中・高）の履修に当たっては、本学指定の「教職課程履修カルテ」に必要事項を記入しなければならない。

履修

（教職課程の履修登録）

- (8) 教職課程を履修登録するには、入学時の教職オリエンテーションに出席しなければならない。2年次以降に新たに教職課程を履修登録するには、入学生対象の教職オリエンテーションに出席しなければならない。
- (9) 旧課程に入学した学生が新課程の科目を履修することを認めることがある。

（教職課程の履修手続）

- (10) 教職課程の履修手続は、所定の期間内に本学指定の教職課程登録申請書に必要事項を記入し、提出しなければならない。

（教職課程費）

- (11) 教職課程の授業科目を履修するには、別に定める教職課程費を所定の期間内に納入しなければならない。

体験活動及び実習科目等

（体験活動及び実習科目等の履修要件）

- (12) 体験活動及び実習科目等の履修条件は、別表2のとおりとする。但し、留学又は時間割編成の事由に拠る単位未修得の場合は、この限りではない。又、特別な事情のある学生に関し、現状では履修の条件（GPA = 2.0）に満たないが、教職希望の意識や資質が高いと考えられる場合、学科の議及び委員会の議を経たうえで履修を許可することがある。
- (13) 教員として資質に問題があると授業担当者又は学科により警告された者について、その後改善が見られない者は、当該学科の意見を聴き、教職課程連絡会の議を経て実習科目の履修取消しを行うことができる。条件を付して履修継続が認められた者で、その後改善が見られない場合は、教職課程連絡会の議を経て実習科目の履修取消しを行うことができる。
- (14) 目白大学・目白大学短期大学部学生懲戒規程（以下「学生懲戒規程」という。）により懲戒処分を受けたものについての実習科目の履修取消しを行う。
- (15) 学生懲戒規程により処分を受けた場合は、教職課程連絡会の議を経て、実習科目の履修取消しを行う。

免許状の申請及び授与

(免許状の申請及びその手続)

(16) 学部の免許状の申請については、次の全てに該当する学生からの申込みにより、本学で取りまとめて東京都教育庁へ一括申請する。

- 1) 教職課程を履修していること。
- 2) 所定の基礎資格、教科及び教職に関する科目を修得できる見込みがあること。
- 3) 学士の学位を取得できる見込みがあること。
- 4) 法令で定める介護等体験をしたことを示す証明書を取得していること。(小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状を取得する場合に限る。)

(免許状の授与)

(17) 前条の規定により申請がなされた者には、東京都教育庁から免許状が授与される。ただし、次のいずれかに該当する者には、授与されない。

- 1) 禁固以上の刑に処せられた者
- 2) 免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 3) 日本国憲法(昭和21年憲法)施行の日以降において同憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

別表1

学部	学科	指定を受けている免許状の種類			
		幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
人間学部	子ども学科	○			
	児童教育学科		○		
社会学部	地域社会学科			○ 社会	○ 地理歴史 ○ 公民
外国語学部	英米語学科			○ 英語	○ 英語
	中国語学科			○ 中国語	○ 中国語
	日本語・日本語教育学科			○ 国語	○ 国語

別表2

体験活動及び実習科目等の受講の条件	
1 小学校体験活動(事前事後指導含む) の受講条件(小学校免許)	①【卒業要件単位数】31単位以上修得していること。
2 介護等体験実習(事前事後指導含む) 介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む) の受講条件(小中高免許)	①【卒業要件単位数】62単位以上単位修得していること。 ②中高免許の教職課程履修者は、 履修前年度秋学期終了時の累計GPAが2.0以上。
3 教育実習 教育実習 小学校(事前事後含む) 教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む) の受講条件(幼小中高免許)	①【卒業要件単位数】93単位以上修得していること。
	②【基礎資格】教職共通科目8単位すべて単位修得していること。
	③【教員免許取得に関する授業科目】 教育実習 教育実習 小学校(事前事後指導含む) 教育実習 中学・高等学校含む(事前事後指導含む) 教職実践演習(幼稚園) 教職実践演習(小学校) 教職実践演習(中・高) 上記科目以外の必修科目(選択必修科目を含む)単位を すべて修得していること。
4 教職実践演習(幼稚園) 教職実践演習(小学校) 教職実践演習(中・高) の受講条件(幼小中高免許)	①教育実習 教育実習 小学校(事前事後指導含む) 教育実習 中学・高等学校含む(事前事後指導含む) 上記科目を履修中、あるいは履修済みであること。

2021年度入学生 4年次教育実習受講のためのその他条件

教科名等	免許ごとの条件
英語科	基準とされる英語力 3年次1月末までにTOEIC (TOEIC IP) 470点以上 または英検 (英検CBT及び英検S-CBT含む) 2級以上
国語科	3年次9月末までに日本語検定3級または漢字検定2級を取得すること。 (4年次夏までに日本語検定2級または漢字検定1級を目指すこと) 中学校教材レベルの古典文学を教えられる学力を有すること。 これについては3年次の秋学期中に所定のテストに合格すること。 (テストについては2年次に連絡する)
中国語	教育実習履修の条件である 「中国語科教育法1」「中国語科教育法2」「中国語科教育法3」は別途定める所定の単位を修得していることが履修の条件である。*1
社会科	3年次終了までに、地図地理検定(一般)に合格、もしくは、歴史検定の準3級以上 (日本史・世界史は問わない)を取得していること。
小学校	3年次終了までに、公的機関でボランティア体験または臨地研修の単位修得をしていること。 3年次終了までに、漢字検定2級以上を取得していることが望ましい。 3年次終了までに、英語検定準2級以上を取得していることが望ましい。
幼稚園	教育実習指導の事前指導において、未提出物、提出遅れがないこと。 教育実習指導の事前指導において、授業態度等に問題がないこと。 履修可能な幼稚園教諭免許必修科目を全て履修していること。 必要に応じて教員と面談を行い、実習に向けての意欲、態度、健康管理において問題がないと確認されていること。 そのほか、「実習の手引き」に記載された教育実習に関する諸規定を満たしていること。

*1・「中国語科教育法1」を履修するために必要な単位修得科目

「中国語1A(作文)」「中国語1B(作文)」「中国語2A(読解)」「中国語2B(読解)」「中国語3A(会話)」「中国語3B(会話)」

・「中国語科教育法2」を履修するために必要な単位修得科目

「中国語科教育法1」「中国語1A(作文)」「中国語1B(作文)」「中国語2A(読解)」「中国語2B(読解)」

「中国語3A(会話)」「中国語3B(会話)」「中国語4A(作文)」「中国語5A(読解)」「中国語6A(会話)」「中国語学概論A)」

・「中国語科教育法3」(3年春)「中国語科教育法4」(3年秋)を履修するために必要な単位修得科目

「中国語科教育法1」「中国語科教育法2」「中国語1A(作文)」「中国語1B(作文)」「中国語2A(読解)」「中国語1B(読解)」

「中国語3A(会話)」「中国語3B(会話)」「中国語4A(作文)」「中国語4B(作文)」「中国語5A(読解)」「中国語5B(読解)」

「中国語6A(会話)」「中国語6B(会話)」「中国語学概論A)」「中国語学概論B)」

* 中国語で免許希望者は、原則国語の免許状も取得してください。

中国語で教育実習することは極めて困難です。

共通注意事項

(1) 留学した学生及び編入生の教育実習等受講の時期について

(小学校・中学校・高等学校免許の場合)

教育実習は「小学校体験活動(事前事後指導含む)」「(小学校免許の場合)及び「介護等体験実習(事前事後指導含む)又は介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」「教育実習 小学校(事前事後指導含む)又は教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」を必ず履修すること。

なお、同一学年次に「小学校体験活動(事前事後指導含む)」及び「介護等体験実習(事前事後指導含む)又は介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」、「介護等体験実習(事前事後指導含む)又は介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」及び「教育実習 小学校(事前事後指導含む)又は教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」を同時に履修することは認めず。

但し、履修の順序については、原則として先述した順序を遵守すること。

※4年次に「介護等体験実習(事前事後指導含む)又は介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」及び「教育実習 小学校(事前事後指導含む)又は教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」を同時に履修する場合、「教育実習 小学校(事前事後指導含む)又は教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)」の教育実習期間は原則として秋学期とする。

(2) 体験活動及び実習を辞退する場合の事務手続き

教務課(教職担当)に必ず辞退する旨申請する

(3) 体験活動及び実習にあたっての生活指導面

体験活動期間、実習期間、教員採用試験等就職活動期間及び平素より心掛けること

①望ましい身だしなみ

- ・ 髪：清潔で自然な色であること(生来の茶髪は許容の範囲とする。)
- ・ メイク：ナチュラルなメイクであること
- ・ 服装：清潔で社会人として相応しいもの
(原則としてスーツ着用。男性は白のワイシャツにネクタイ、女性は白の無地のブラウス等を着用する。)
- ・ バッグ：有名ブランドものは避ける。ビジネス用のバッグを使用する
- ・ 爪：短く切っておくこと。付け爪、ネイルアートは不可
- ・ 装身具：指輪、ピアス、ネックレス等のアクセサリーは不可
- ・ 靴(通勤)：社会人としてふさわしいもの。女性は中ヒールのパンプス
- ・ 靴(上履き)：運動靴(白を基調としたもの)
- ・ サングラス・カラーコンタクト：着用しない(身体的理由がある場合を除く。)
- ・ 喫煙：小・中・高等学校内は全面禁煙
- ・ その他：香水、オーデコロン等、においの強いものは使用しないこと

②体験活動及び実習中ならびに日常の授業態度として望ましくないこと

- ・ 無断欠席、正当な理由の無い遅刻
- ・ 授業中の携帯使用(電話番号・メールアドレスを生徒に教えない。)
- ・ トイレ・体調不良以外の入退室、その他著しく授業の進行を乱す行為
- ・ 着帽・必要以外の飲食
- ・ 授業観察中にみだりに生徒に話しかけること
- ・ 児童・生徒との個人情報の交換(電話番号、メールアドレス、ライン等)

3 各学科の教職カリキュラム

① 人間学部 子ども学科

(A) 取得できる免許の種類…幼稚園一種

(B) 免許取得のために履修すべき科目・単位数

下記の(1)(2)で合計72単位以上の修得が必要。

(1) 基礎科目…8単位必修(すべて卒業要件に含まれる)

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、幼稚園から高校までのすべての学校種において教員となるために履修すべき科目。

※ 一度修得すれば、後で他の免許を取得するときにすでに履修したもものとして認められる。

(2) 教科及び教職に関する科目…64単位以上

幼稚園の教員になるために履修すべき科目。

他の免許(小学校・中学・高校)と同じ名称の科目がある場合(「教育原理」「教育心理学」等)は、幼稚園の科目を履修。

(C) 教職課程費・免許申請諸費…教職課程科目を履修して免許を取得するには、下記の費用が授業料とは別に必要です。

教職課程費 (納入日)	1年次秋学期 (授業開始1週間後)	50,000円	合計 100,000円
	3年次春学期 (授業開始1週間後)	50,000円	
免許申請費	1免許あたり3,300円(2020年3月現在)		

(1) 基礎科目

科目名	配当年次	必修	単位数	備考	修得チェック
日本国憲法	1	○	2	共通科目(総合科目「資格関連科目」)	
生涯スポーツ1	1	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
生涯スポーツ2あるいは3	2	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
英語基礎(Fundamentals of English) I	1	○	1	共通科目(外国語)	
英語基礎(Fundamentals of English) II	1	○	1	共通科目(外国語)	
情報活用演習 I	1	○	2	共通科目(情報活用演習)	
履修方法・説明	<ul style="list-style-type: none"> ・8単位すべて履修(修得)すること。 ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。 				

(2) 教科及び教職に関する科目

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		履修方法等	履修チェック
					必	選		
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	保育内容演習(健康)	2	1			
			保育内容演習(人間関係)	2	1			
			保育内容演習(環境)	2	1			
			保育内容演習(ことば)	2	1			
			保育内容演習(音楽表現)	2	1			
			保育内容演習(造形表現)	2	1			
			保育内容演習(身体表現)	2	1			
		領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	保育内容総論	3	1			
		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容の計画と実践	3	2			
			保育内容指導法(身体運動遊び)	3	2			
			子どもと人間関係	1	2			
			子どもと環境A	1	1			
			保育内容指導法(ことば)	3	2			
子どもの言葉と児童文学	2		2					
保育内容指導法(音楽表現)	3		2					
保育内容指導法(造形表現)	3	2						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2			
			保育原理 I	1		2		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	保育者論	1	2			
			教育の制度と経営	3	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	子どもの健康と安全	3	1			
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2		
		発達心理学		1	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な支援を要する子ども	2	2			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育・保育のカリキュラムと評価	2	2					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育の方法と技術	3	2			
		幼児理解の理論及び方法	子ども理解と援助	3	1			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	保育・教育相談	3	2			

第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導	4	1		
			教育実習	4	4		
		学校体験活動					
		教職実践演習	教職実践演習(幼稚園)	4	2		
第六欄	大学が独自に設定する科目	子どもと環境B		1	1	14単位選択必修	
		子どもと人権		1	2		
		子ども家庭支援の心理学		3	2		
		保育原理Ⅱ		1	2		
		子どもの発達臨床		3	2		
		教育哲学		4	2		
		障害児保育		3	2		
		子ども文化論		2	2		
		子ども学基礎セミナー		2	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業要件の必修科目との違いに注意すること ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること 							

② 人間学部 児童教育学科

(A) 取得できる免許の種類…小学校一種

(B) 免許取得のために履修すべき科目・単位数

下記の(1)(2)で合計78単位以上の修得が必要。

(1) 基礎科目…8単位必修(すべて卒業要件に含まれる)

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、幼稚園から高校までのすべての学校種において教員となるために履修すべき科目。

※ 一度修得すれば、後で他の免許を取得するときにすでに履修したものとして認められる。

(2) 教科及び教職に関する科目…70単位以上(卒業要件内と卒業要件外の科目を含む)

小学校の教員になるために履修すべき科目。

他の免許(幼稚園・中学・高校)と同じ名称の科目がある場合(「教育原理」「教育心理学」等)は、小学校の科目を履修。

(C) 教職課程費・免許申請諸費…教職課程科目を履修して免許を取得するには、下記の費用が授業料とは別に必要です。

教職課程費 (納入日)	1年次秋学期 (授業開始1週間後)	50,000円	合計 100,000円
	3年次春学期 (授業開始1週間後)	50,000円	
免許申請費	1免許あたり3,300円(2020年3月現在)		

(1) 基礎科目

科目名	配当年次	必修	単位数	備考	修得 チェック
日本国憲法	1	○	2	共通科目(総合科目「資格関連科目」)	
生涯スポーツ1	1	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
生涯スポーツ2あるいは3	2	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
英語基礎(Fundamentals of English) I	1	○	1	共通科目(外国語)	
英語基礎(Fundamentals of English) II	1	○	1	共通科目(外国語)	
情報活用演習 I	1	○	2	共通科目(情報活用演習)	
履修方法・説明	・8単位すべて履修(修得)すること。 ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。				

(2) 教科及び教職に関する科目

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		履修方法等	履修チェック	
					必	選			
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語	2	2				
			社会	2		2	「理科」「社会」から2単位選択必修		
			算数	2	2				
			理科	2		2	「理科」「社会」から2単位選択必修		
			生活	2		2	「生活」「家庭」から2単位選択必修		
			音楽	1	2				
			音楽実技	2		1	「音楽実技」「造形実技」「体育実技」より2単位選択必修		
			図画工作	1	2				
			造形実技	2		1	「音楽実技」「造形実技」「体育実技」より2単位選択必修		
			家庭	2		2	「生活」「家庭」から2単位選択必修		
			体育	1	2				
			体育実技	2		1	「音楽実技」「造形実技」「体育実技」より2単位選択必修		
			小学校外国語	3	2				
			各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	初等教科教育法(国語)	2	2		※	
				初等教科教育法(社会)	3	2		※	
	初等教科教育法(算数)	3		2		※			
	初等教科教育法(理科)	3		2		※			
	初等教科教育法(生活)	3		2		※			
	初等教科教育法(音楽)	2		2		※			
	初等教科教育法(図画工作)	2		2		※			
	初等教科教育法(家庭)	3		2		※			
	初等教科教育法(体育)	2		2		※			
初等教科教育法(外国語)	3	2		※					

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(小学校)	1	2	※	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営	3	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	2		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	3	2		
第四欄	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育	3	2		
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3	2	特別活動の指導法を含む	
		特別活動の指導法					
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(小学校)	2	2	※	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論と方法	2	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	1	2		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 小学校(事前事後指導含む)	4	5	※	
		学校体験活動	小学校体験活動(事前事後指導含む)	2	2	※	
		教職実践演習	教職実践演習(小学校)	4	2	※	
第六欄	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習(事前事後指導含む)	3	2	※		
・卒業要件の必修科目との違いに注意すること(※の科目は卒業要件外) ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること ★【本学における「教育実習」の履修条件】 3年次終了までに公的機関でボランティア体験または臨地研修の単位修得、漢検2級以上、英検準2級の取得が望ましい。							

③ 社会学部 地域社会学科

(A) 取得できる免許の種類

- 中学一種(社会)
 - 高校一種(公民)
 - 高校一種(地歴)
- } 中学・高校の社会科系を教える免許(以下、この3免許を合わせて「社会科免許」と総称する)。

※ 社会科免許は3種を同時に取得することを原則とする。1～2免許のみの取得を目指すための履修は原則として認めない。

(B) 免許取得のために履修すべき科目・単位数

下記の(1)(2)で合計99単位以上の修得が必要。

(1) 基礎科目…8単位必修(すべて卒業要件に含まれる)

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、幼稚園から高校までのすべての学校種において教員となるために履修すべき科目。

※ 一度修得すれば、後で他の免許を取得するときにすでに履修したもとして認められる。

(2) 教科及び教職に関する科目…91単位以上

中学・高校の教員として、中学「社会」、高校「地歴」・「公民」を指導する資格を得るために履修すべき科目。

(C) 教職課程費・免許申請諸費…教職課程科目を履修して免許を取得するには、下記の費用が授業料とは別に必要です。

納入時期 免許の種類	1年次秋学期 (授業開始1週間後)	3年次春学期 (授業開始1週間後)	教職課程費合計	免許申請費
中学一種社会 高校一種地歴 高校一種公民	50,000円	50,000円	100,000円	1免許あたり3,300円×3免許=9,900円 (2020年3月現在)

(1) 基礎科目

科目名	配 当 年 次	必 修	単 位 数	備考	修得 チェック
日本国憲法	1	○	2	共通科目(総合科目「資格関連科目」)	
生涯スポーツ1	1	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
生涯スポーツ2あるいは3	2	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
英語基礎(Fundamentals of English) I	1	○	1	共通科目(外国語)	
英語基礎(Fundamentals of English) II	1	○	1	共通科目(外国語)	
情報活用演習 I	1	○	2	共通科目(情報活用演習)	
履修方法・説明	・8単位すべて履修(修得)すること。 ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。				

(2) 教科及び教職に関する科目 高校教諭一種免許状(地理歴史)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		共通開設	履修方法等	履修チェック			
					必	選						
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本の歴史と史料	1	2		同(中社会)				
				日本民俗学	1		2	同(中社会)				
				江戸東京学	2		2	同(中社会)				
				文化財学	3		2	同(中社会)				
			外国史	アジアの歴史と文化(東洋史)	1	2			他	全学共通開設		
				西洋の歴史と文化(西洋史)	1	2			他	全学共通開設		
				アジア関係史	2		2		同(中社会)	14 単位 選択 必修		
				ヨーロッパ政治史	2		2		同(中社会)			
				イスラムの文化と歴史	2		2		同(中社会)			
			人文地理学・自然地理学	人文地理学概説	1	2			同(中社会)			
				自然地理学概説	1	2			他		全学共通開設	
				観光地理学	2		2		同(中社会)			
				経済地理学	2		2		同(中社会)			
				ラテンアメリカ地域論	2		2		同(中社会)			
			地誌	地誌	2	2			同(中社会)			
			各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教科教育法(社会・地歴)	3	2			同(中社会)			
				地歴科教育法	3	2			同(中社会)			
			第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中・高)	1	2				
						教育学概論	1		2			
					教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(中・高)	1	2				
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営(中・高)	2			2							
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1			2							
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中・高)	2			2							
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中・高)	2			2							

第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育(中学校)	1	2			中学免許のみ	
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法(中・高)	2	2			特別活動の指導法を含む	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(中・高)	2	2				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2	2			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2				
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	4	5				
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2				
第六欄	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	3	2					
<p>★【本学における教育実習の履修条件】 {社会科}3年次終了までに、地図地理検定(一般)に合格、もしくは、歴史検定の準3級以上(日本史・世界史は問わない)を取得していること。</p>									

(2) 教科及び教職に関する科目 高校教諭一種免許状(公民)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		共通開設	履修方法等	履修チェック	
					必	選				
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	政治のしくみ(政治学)	1	2		他	全学共通開設		
			日本国憲法	1	2		他	全学共通開設		
			「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	多文化社会と法	3		2	同(中社会)		
			法学	1		2	他	全学共通開設		
			国際関係論	2		2	同(中社会)			
			社会学	1		2	同(中社会)			
			地域社会とボランティア	2		2	同(中社会)			
			公共経済論	2		2	同(中社会)	14単位選択必修		
			現代コミュニティ論	3		2	同(中社会)			
			地域政策の開発	1		2	同(中社会)			
		「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	男女共同参画社会論	2		2	同(中社会)			
			社会調査法	1		2	同(中社会)			
			社会学説史	2		2	同(中社会)			
			カルチュラル・スタディーズ概論	1		2	同(中社会)			
			「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	多文化社会の宗教	3		2	同(中社会)		
				環境倫理学	1		2	同(中社会)		
		公共の哲学		1		2	同(中社会)			
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教科教育法(社会・公民)	3		2	同(中社会)			
			公民科教育法	3		2	同(中社会)			
		第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中・高)	1		2		
教育学概論	1					2				
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(中・高)			1		2				
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営(中・高)			2		2				
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)			1		2				

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中・高)	2	2				
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中・高)	2	2				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育(中学校)	1	2			中学免許のみ	
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法(中・高)	2	2			特別活動の指導法を含む	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(中・高)	2	2				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2	2			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2				
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	4	5				
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2				
第六欄	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	3	2					

★【本学における教育実習の履修条件】
 (社会科)3年次終了までに、地図地理検定(一般)に合格、もしくは、歴史検定の準3級以上(日本史・世界史は問わない)を取得していること。

(2) 教科及び教職に関する科目 中学校教諭一種免許状(社会)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		共通開設	履修方法等	履修チェック	
					必	選				
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	アジアの歴史と文化(東洋史)	1	2		他	全学共通開設	
				西洋の歴史と文化(西洋史)	1	2		他	全学共通開設	
				日本の歴史(日本史)	1	2		他	全学共通開設	
				日本の歴史と史料	1		2	同(高地歴)		
				江戸東京学	2		2	同(高地歴)		
				アジア関係史	2		2	同(高地歴)		
				ヨーロッパ政治史	2		2	同(高地歴)		
				イスラムの文化と歴史	2		2	同(高地歴)		
			地理学(地誌を含む)	人文地理学概説	1	2		同(高地歴)		
				自然地理学概説	1	2		他	全学共通開設	
				地誌	2	2		同(高地歴)		
				観光地理学	2		2	同(高地歴)		
				ラテンアメリカ地域論	2		2	同(高地歴)		
				経済地理学	2		2	同(高地歴)	6単位選択必修	
			[法学、政治学]	国際関係論	2	2		同(高公民)		
				平和学	3		2	同(高公民)		
				多文化社会と法	3		2	同(高公民)		
			[社会学、経済学]	社会学	1	2		同(高公民)		
				社会学説史	2		2	同(高公民)		
				カルチュラル・スタディーズ概論	1		2	同(高公民)		
				地域社会とボランティア	2		2	同(高公民)		
				公共経済論	2		2	同(高公民)		
				現代コミュニティ論	3		2	同(高公民)		
				地域政策の開発	1		2	同(高公民)		
				社会調査法	1		2	同(高公民)		

第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 「哲学、倫理学、宗教学」	環境倫理学	1		2	同 (高公民)		
			公共の哲学	1	2		同 (高公民)		
			多文化社会の宗教	3		2	同 (高公民)		
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教科教育法(社会・地歴)	3	2		同 (高公民)		
			地歴科教育法	3	2		同 (高公民)		
			中等教科教育法(社会・公民)	3	2		同 (高公民)		
			公民科教育法	3	2		同 (高公民)		
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中・高)	1	2				
			教育学概論	1		2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(中・高)	1	2				
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営(中・高)	2	2				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1	2				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中・高)	2	2				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中・高)	2	2						
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育(中学校)	1	2			中学免許のみ	
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法(中・高)	2	2			特別活動の指導法を含む	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(中・高)	2	2				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2	2			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2				
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	4	5				
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2				
第六欄	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	3	2					
<p>★【本学における教育実習の履修条件】 (社会科)3年次終了までに、地図地理検定(一般)に合格、もしくは、歴史検定の準3級以上(日本史・世界史は問わない)を取得していること。</p>									

④ 外国語学部 英米語学科

(A) 取得できる免許の種類

- 中学一種(英語)
- 高校一種(英語)

- ※1 いずれか一方のみの取得を目指すための履修は原則として認めない。
- ※2 Power English 2(海外語学研修)履修者は、2～3年次の履修に注意すること。

(B) 免許取得のために履修すべき科目・単位数

下記の(1)(2)で合計76単位以上の修得が必要。

(1) 基礎科目…8単位必修(すべて卒業要件に含まれる)

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、幼稚園から高校までのすべての学校種において教員となるために履修すべき科目。

※一度修得すれば、後で他の免許を取得するときにすでに履修したものとして認められる。

(2) 教科及び教職に関する科目…68単位以上

中学・高等学校の教員となり、「英語」を指導する資格を得るために履修すべき科目。

(C) 教職課程費・免許申請諸費…教職課程科目を履修して免許を取得するには、下記の費用が授業料とは別に必要です。

教職課程費 (納入日)	1年次秋学期 (授業開始1週間後)	50,000円	合計 100,000円
	3年次春学期 (授業開始1週間後)	50,000円	
免許申請費	1免許あたり3,300円(2020年3月現在)		

(1) 基礎科目

科目名	配当年次	必修	単位数	備考	修得 チェック
日本国憲法	1	○	2	共通科目(総合科目「資格関連科目」)	
生涯スポーツ1	1	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
生涯スポーツ2あるいは3	2	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
フランス語 基礎 I・II	1		2	共通科目(外国語) 同一言語の基礎 I・II 2単位選択必修	
ドイツ語 基礎 I・II	1		2		
中国語 基礎 I・II	1		2		
韓国語 基礎 I・II	1		2		
インドネシア語 基礎 I・II	1		2		
スペイン語 基礎 I・II	1		2		
情報活用演習 I	1	○	2		共通科目(情報活用演習)
履修方法・説明	<ul style="list-style-type: none"> ・必修6単位を含め8単位を履修(修得)すること。 ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。 				

(2) 教科及び教職に関する科目 中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		履修方法等	履修チェック
					必	選		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	2	2		
				英語音声学	1	2		
				英文法概論	2	2		
				英語教育学概論	1	2		
			英語文学	英語文学講読	2	2		
				英語文学演習	3	1		
				英語文学史	2	2		
			英語コミュニケーション	Communicative Grammar & Writing	1	2		
				Oral Interpretation	1	1		
				Oral Presentation	1	1		
				English for Tourism	1	2		
				Advanced English Reading	2	2		
				Proficiency Tests Preparation	1	1		
				English Data Processing	1	1		
				Business Communication	1	2		
				Discussion And Negotiation	3	2		
				English in the Media	2	2		
				Global Perspectives through English	2	2		
				Topic Studies 1	3	1		
				Topic Studies 2	2	1		
				Topic Studies 3	3	1		
				Topic Studies 4	2	1		
				Topic Studies 5	3	1		
				Topic Studies 6	2	1		
				Topic Studies 7	3	1		
				Topic Studies 8	2	1		
				Topic Studies 9	3	1		
				Topic Studies 10	2	1		
				Topic Studies 11	3	1		
				Topic Studies 12	2	1		
			Core Program 5 (Discussion And Debate)	3	2			
			異文化理解	英米の言語と文化	2	2		
				比較文化論	2	2		
異文化コミュニケーション	1	2						

その他9単位選択必修(※③)

2単位選択必修(※①)

第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	English Education for Young Learners	3	2	1単位以上選択必修 (※②)
			英語教育学演習	2	1	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法 1	3	2	
			英語科教育法 2	3	2	
			英語科教育法 3	3	2	
英語科教育法 4	3		2			
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中・高)	1	2	
			教育学概論	1	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(中・高)	1	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営(中・高)	2	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中・高)	2	2	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中・高)	2	2	
第四欄	道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育(中学校)	1	2	中学免許のみ
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法(中・高)	2	2	特別活動の指導法を含む
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(中・高)	2	2	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2	
第五欄	科目に関する教育実践	教育実習	教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	4	5	
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2	
第六欄	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	3	2		

・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。
 ★第二欄:必修25単位、※①2単位選択必修、※②1単位以上選択必修、※③その他9単位選択必修を含め37単位以上を履修(修得)すること。
 ★第三欄～第六欄:必修31単位を含む31単位以上を履修(修得)すること。
 ★【本学における「教育実習」を履修するうえで基準とされる英語力】
 3年次1月末までにTOEIC (TOEIC IP) 470点以上、または英検2級以上。

⑤ 外国語学部 中国語学科

(A) 取得できる免許の種類

- 中学一種 (中国語)
- 高校一種 (中国語)

※1 中学一種 (中国語)、高校一種 (中国語)、中学一種 (国語)、高校一種 (国語) の4種全ての免許を同時に取得することを原則とする。

※2 1～3免許のみの取得を目指すための履修は原則として認めない。

なお中学一種 (国語)、高校一種 (国語) の免許を取得する場合は、外国語学部日本語・日本語教育学科の科目を履修することになる。

(B) 免許取得のために履修すべき科目・単位数

下記の (1) (2) で「中国語」「国語」のいずれも合計107単位以上の修得が必要。

(1) 基礎科目…8単位必修 (すべて卒業要件に含まれる)

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、幼稚園から高校までのすべての学校種において教員となるために履修すべき科目。

※ 一度修得すれば、後で他の免許を取得するときにすでに履修したもものとして認められる。

(2) 教科及び教職に関する科目…99単位以上

中学・高校の教員となり、「中国語」「国語」を指導する資格を得るために履修すべき科目。

(C) 教職課程費・免許申請諸費…教職課程科目を履修して免許を取得するには、下記の費用が授業料とは別に必要です。

教職課程費 (納入日)	1年次秋学期 (授業開始1週間後)	50,000円	合計 100,000円
	3年次春学期 (授業開始1週間後)	50,000円	
免許申請費	1免許あたり3,300円(2020年3月現在)		

(1) 基礎科目

科目名	配当年次	必修	単位数	備考	修得チェック
日本国憲法	1	○	2	共通科目(総合科目「資格関連科目」)	
生涯スポーツ1	1	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
生涯スポーツ2あるいは3	2	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
英語基礎(Fundamentals of English) I	1	○	1	共通科目(外国語)	
英語基礎(Fundamentals of English) II	1	○	1	共通科目(外国語)	
情報活用演習 I	1	○	2	共通科目(情報活用演習)	
履修方法・説明	・8単位すべて履修(修得)すること。 ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。				

(2) 教科及び教職に関する科目 中学校・高等学校教諭一種免許状(中国語)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		履修方法等	履修チェック
					必	選		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目(中学28単位 高校24単位)	教科に関する専門的事項	中国語学	中国語学概論A	2	2		
				中国語学概論B	2	2		
				中国語4A(作文)	2	2		
				中国語4B(作文)	2	2		
				日中翻訳A	3	1		
				日中翻訳B	3	1		
			中国文学	中国現代文学	2	2		
				中国古典文学	3	2		
				中日翻訳A	3	1		
				中日翻訳B	3	1		
		中国語コミュニケーション	ビジネス中国語A	3	1			
			ビジネス中国語B	3	1			
			中国語5A(読解)	2	2			
			中国語5B(読解)	2	2			
			中国語6A(会話)	2	2			
			中国語6B(会話)	2	2			
			中国語プレゼンテーション演習A	3	1			
			中国語プレゼンテーション演習B	3	1			
		異文化理解	ダイバーシティマネジメント	1	2			学部共通科目
			各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中国語科教育法1	3	2		
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中・高)	1	2			
			教育学概論	1	2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(中・高)	1	2			
			教育の制度と経営(中・高)	2	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育心理学(中・高)	1	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	特別支援教育論(中・高)	2	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育課程論(中・高)	2	2			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)						

第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育(中学校)	1	2		中学免許のみ	
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法(中・高)	2	2		特別活動の指導法を含む	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(中・高)	2	2			
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2	2		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2			
第五欄	科目 教育実践に関する	教育実習	教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	4	5			
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2			
第六欄	大学が独自に設定する科目		介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	3	2			
<p>・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。</p> <p>★【本学における「教育実習」の履修条件】</p> <p>・【中・高国語】3年次9月末までに日本語検定3級または漢字検定2級を取得(4年次夏までに日本語検定2級または漢字検定1級取得を目指す)し、3年次秋学期の古典テストに合格すること。</p>								

(2) 教科及び教職に関する科目 中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		履修方法等	履修チェック
					必	選		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論A(文法)	1	2	「教科に関する専門的事項」から必修を除き10単位選択必修	
				日本語学概論B(音韻・語彙)	1	2		
				日本語史1	2	2		
				日本語史2	2	2		
				地球時代の言語表現	2	2		
			国文学 (国文学史を含む。)	日本文学(上代)	1	2		
				日本文学(中古)	1	2		
				日本文学(中世)	2	2		
				日本文学(近世)	2	2		
			漢文学	日本文学概論	1	2		
				漢文学の世界(漢文学論)	1	2		全学共通総合科目
				中国の歴史	2	2		中国語学科開設科目
			書道(書写を中心とする。)	中国の思想	2	2		中国語学科開設科目
				書道	2	2		
			各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法1	3	2		
				国語科教育法2	3	2		
				国語科教育法3	3	2		
国語科教育法4	3	2						

・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。
 ★【本学における「教育実習」の履修条件】
 ・【中・高国語】3年次9月末までに日本語検定3級または漢字検定2級を取得(4年次夏までに日本語検定2級または漢字検定1級取得を目指す)し、3年次秋学期の古典テストに合格すること。

⑥ 外国語学部 日本語・日本語教育学科

(A) 取得できる免許の種類

- 中学一種(国語)
- 高校一種(国語)
- ※ いずれか一方のみの取得を目指すための履修は原則として認めない。

(B) 免許取得のために履修すべき科目・単位数

下記の(1)(2)で合計73単位以上の修得が必要。

(1) 基礎科目…8単位必修(すべて卒業要件に含まれる)

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、幼稚園から高校までのすべての学校種において教員となるために履修すべき科目。

※ 一度修得すれば、後で他の免許を取得するときにすでに履修したもとして認められる。

(2) 教科及び教職に関する科目…65単位以上

中学・高校の教員となり「国語」を指導する資格を得るために履修すべき科目。

(C) 教職課程費・免許申請諸費…教職課程科目を履修して免許を取得するには、下記の費用が授業料とは別に必要です。

教職課程費 (納入日)	1年次秋学期 (授業開始1週間後)	50,000円	合計 100,000円
	3年次春学期 (授業開始1週間後)	50,000円	
免許申請費	1免許あたり3,300円(2020年3月現在)		

(1) 基礎科目

科目名	配当年次	必修	単位数	備考	修得チェック
日本国憲法	1	○	2	共通科目(総合科目「資格関連科目」)	
生涯スポーツ1	1	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
生涯スポーツ2あるいは3	2	○	1	共通科目(スポーツ・健康)	
英語基礎(Fundamentals of English) I	1	○	1	共通科目(外国語)	
英語基礎(Fundamentals of English) II	1	○	1	共通科目(外国語)	
情報活用演習 I	1	○	2	共通科目(情報活用演習)	
履修方法・説明	<ul style="list-style-type: none"> ・8単位すべて履修(修得)すること。 ・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。 				

(2) 教科及び教職に関する科目 中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		履修方法等	履修チェック
					必	選		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (首声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論A(文法)	1	2	「教科に関する専門的事項」から必修を除き10単位選択必修	
				日本語学概論B(音韻・語彙)	1	2		
				日本語史1	2	2		
				日本語史2	2	2		
				地球時代の言語表現	2	2		
			国文学 (国文学史を含む。)	日本文学(上代)	1	2		
				日本文学(中古)	1	2		
				日本文学(中世)	2	2		
				日本文学(近世)	2	2		
				日本文学概論	1	2		
		漢文学	漢文学の世界(漢文学論)	1	2	全学共通総合科目		
			中国の歴史	2	2	中国語学科開設科目		
			中国の思想	2	2	中国語学科開設科目		
		書道(書写を中心とする。)	書道	2	2			
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法1	3	2			
			国語科教育法2	3	2			
			国語科教育法3	3	2			
国語科教育法4	3		2					
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中・高)	1	2			
			教育学概論	1	2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(中・高)	1	2			
			教育の制度と経営(中・高)	2	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中・高)	2	2			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中・高)	2	2			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育(中学校)	1	2	中学免許のみ		
		総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法(中・高)	2	2	特別活動の指導法を含む		
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(中・高)	2	2			
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2			

第五欄	科目に関する教育実践	教育実習	教育実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	4	5		
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2		
第六欄	大学が独自に設定する科目		介護等体験実習 中学・高等学校(事前事後指導含む)	3	2		
<p>・開講区分(春・秋開講の区別)については履修登録の際に時間割表等で確認すること。</p> <p>★【本学における「教育実習」の履修条件】</p> <p>・〔中・高国語〕3年次9月末までに日本語検定3級または漢字検定2級を取得(4年次夏までに日本語検定2級または漢字検定1級取得を目指す)し、3年次秋学期の古典テストに合格すること。</p>							